

面接対策ワークシート

1. 転職理由 企業の視点:基本的に「根本的な考え方に甘いところはないか?」を確認する為
本当に転職するに足りうる理由かどうか、納得性があるかを確認しています。

1-1.あなたの現状

現状の不満(仕事内容、ヒト、物、金など) 【目安:100文字】
現在の派遣先に就業してから約3年が経過し、様々な経験とスキルを身に着け、就業先の方々からも頼りにされているが、派遣社員という立場のため、自分から課題や提案を行うことができず、業務の幅の狭さを感じている。

今、あなたが勤めている会社で、転職を考える原因となることはどんなことが挙げられますか?現状に対して、何が嫌ですか?困っていると感じていることは何ですか?

上記が解消できる、求める環境 【目安:100文字】
単に言われるがままやるのではなく、自分から課題を見つけてそこから提案をし、結果を出すことに責任を持って取り組む環境

どんな環境であれば解消できますか?

転職理由

【目安:200文字】
現在の派遣先に就業してから約3年が経過し、様々な経験とスキルを身に着け、就業先の方々からも頼りにされていますが、派遣社員という立場のため、製品に対して関わられる業務の幅に限界があり、仕事の幅の狭さを感じておりました。
そのような中で、単に言われるがままやるのではなく、仕事の結果に責任を持って取り組む環境に身を置きたいと考え、今回転職を決意しました。

1-1から、現状の不満⇒今後は〜したいというように一貫性のあるポイントを選び、まとめてみましょう。

まとめ方は、前半に現状の不満(〜に疑問を持っている。など言い方に注意!)後半に今後は〜したい。と前向きに。

2. 応募動機 企業の視点:他の会社ではなく「本当にうちの会社に入社して仕事をしたい」理由があるかどうか確認する為(知名度や給与だけで決めていないか?)。
また、転職理由と志望動機に一貫性があるかどうか確認をしています。

2-1.(1-2)から、転職先を選ぶ基準は?

【目安:100文字】
・化学エンジニアとしての知識や経験を活かした仕事ができること
・自分の作り出したモノを通して、社会の役に立てること

改めて、どんな業務・環境で働きたいか考えましょう!転職理由をふまえた内容になるように気をつけよう!

例: 仕事が面白い
自分が成長できる
活気がある

2-2.応募企業の会社としての魅力は?

【目安:100文字】
・ウレタンやゴムなどの高分子材料について、長年に渡って培われてきた確かな技術を活かして、優れた素材や製品を造られていること
・幅広い業界で多様な製品を供給され、高分子化学製品メーカーとして確固たる地位を築いていること

HPや求人票をじっくり読んでご自身が素直に魅力に感じる点を二点程度挙げて下さい。

(EX:会社の理念、技術の優位性や高さ、社員の声などなんでもOK)

2-3.応募企業の仕事内容としての魅力は？

【目安：100 文字】

業務：自動車用のシートクッション用のウレタンの材料開発や配合設計
自分が専門としている高分子化学の知識と経験を活かして自分がやりたかった製品開発に対しての提案や課題解決に携わることができ、かつ自動車用のシートクッションという製品として造り上げたモノが社会の役に立つこと

応募先の仕事内容をしっかりイメージして下さい。
その仕事に今の仕事にはない魅力を感じますか？
それはどんなことですか？

また、御自身の経験してきたことで何が活かそうですか？

2-4.(2-2)、(2-3)を合わせて志望動機をまとめましょう

【目安：300 文字】

御社はウレタンやゴムなどの高分子材料について、長年に渡って培われてきた確かな技術を活かして、幅広い業界で多様な製品を供給され、高分子化学製品メーカーとして確固たる地位を築いておられることに大変魅力を感じております。
また、自動車用のシートクッション用のウレタンの材料開発や配合設計という、これまで行ってきた高分子材料の開発での知識と経験を活かし、自分がこれまで出来なかった製品開発に対しての提案や課題解決に携わることができ、かつ自動車用のシートクッションという製品として造り上げたモノが社会の役に立つことができる仕事であると感じ、今回応募いたしました。

2-1 でご自身が企業を選ぶ基準としたものとマッチしていますか？

また、1-1 で考えた転職理由と一貫性がありますか？

再度チェックしてください！

3. 業務 企業の視点：『職務経歴書でスキルに関して興味はある。あとは、どこまで深みや幅のある仕事をされているかチェックしよう！』とされています。スキルだけではなく、周りとのやり取りや仕事に対する考え方、取り組み姿勢を伝える必要があります。

3-1.自己 PR をまとめてみましょう

1. スキルや知識(若い方は大学での知識、経験を盛り込んで可)

- ・高分子合成に関する経験や知識
- ・トナーやインクなどのプリンタ関連の化学的な知見

2. 周りとのやり取り(他部署や社外の方とどんな風にやり取りしてきたか？)

課題解決のためには化学系以外でもメカやハードの方とも積極的に相談し、やがてメカやハードの方から逆に相談されるようになった。

3・性格的な強み(仕事への取り組み姿勢)

仕事を完遂するためにはあらゆる可能性を考え、粘り強く取り組む

企業が知りたいのは「何ができる人か」ではなく、「それをする為に、どのように取り組んできた人か」です。

3-2.具体的な事例

【今までで一番印象に残っている仕事】⇒苦労した事、失敗しても成果に結びつけた事など

自分の中で、「一番達成感を感じた仕事」は、具体的にどんな仕事？それに取り組んだ際にぶつかった壁は？それをどのようにして乗り越えた？そしてその成果は？

インクサンプル作成の業務を依頼された際、添加する界面活性剤を混合する際に常温で固形であったために加熱攪拌によって調整するよう指示されて作成しましたが、当初予想していた性能より遥かに悪いものになってしまい、また、その活性剤は切り札としてチームで期待されていたものであったため、メンバーの方々が頭を抱えてしまうという場面がありました。

サンプル名から調べてその活性剤の大まかな構造を知り、加熱攪拌中の様子を観察していて、ひょっとしたら活性剤が熱変性してしまうのかもしれないと思い、試しに加熱せずに攪拌して作成したところ、時間はかかるものの作成ができ、さらに当初予想されていた性能を十分に発揮することがわかりました。

このことが大きな一歩になり、プロジェクトが次のステップに進むことになりました。

単純なスキルではなく、仕事の進め方なども絡めてください。

①仕事に対してどんな工夫をしたか？

②自分の成長のために行ったことなどを考えて下さい。

4. 注意事項

★ 面接はプレゼンテーション(自己PR)

面接は自分のことを理解してもらう場。面接官の質問を待っているだけではなく、自分から積極的にPRしましょう。

★ 面接とは自分のエゴでも良い！

面接とは月並みな話しをする場ではない。世間一般論ではなく、自分の意見を述べる場です。転職理由や志望動機は特に、一般論ではなく自分なりの、自分だけの意見を述べるようにしましょう。

★ よくある不合格理由

「元気がない」、「目をあわせられない」、「態度が悪い」、「考えが甘い」、「話が長い、説明が下手」が不合格の理由として多く聞かれます。意外と、業務的なスキルや技術力以外のところで不合格となる方も多いです。

★ 話し方(話法)

①結論を先に

質問に対しては、結論を述べましょう。その後、なぜそのように考えたのかを伝えるようにしましょう。また、結論だけでは不十分です。必ず、結論とそのように考えた理由と言うかたちでお答え下さい。

②not~, but~ 話法

面接での回答は否定形で終わると、ややマイナスないイメージを与えてしまうことがあります。そんなときは、「~は出来ません。しかし、できるようになるために~する際には~をしています。」というように、語尾を前向きな表現にしておくとういイメージで伝えることが出来ます。

③語尾をしっかりと

話しの終わりはしっかりと口調で言い切りましょう。話しの最後が弱いと曖昧に濁したような話し方になってしまいます。また、話しの最後は「以上です」で締めると、内容がしまっていて聞こえます。

④難しい質問に対しては…

準備もしていなかったような、非常に難しい質問に遭遇した際でも、黙り込んでしまうのはやはり良い印象を与えません。一言「ちょっと考えさせてください」といってから考え込みましょう。20 秒くらいであれば待っていてくれるはずです。ただ、自己紹介など考え込む必要のない質問ではこれは使えません。

★ その他、よく聞かれる質問

①他に応募している企業はありますか？ ある場合は、志望順位は？

こちらは、YES、または NO で結構です。どちらの企業か、企業名まで言う必要はありません。

志望順位の質問は「1位」、または「1位以外」と言うどちらかの考え方になります。1位の場合は「1位です」で結構ですが、「それ以外」の場合は「順位は決めておりませんが、御社のことは前向きに考えております」など、やや曖昧に前向き感を伝えるようにしましょう。

②いつ頃から入社が可能ですか？

できれば具体的な日時で応えないようにしてください。「内定後〇ヶ月後」くらいの伝え方が良いと思います。現実的には2ヶ月と言う方が多いです。

③あなたの長所と短所は？

長所以上に、短所についてしっかりと考えておいてください。ストレートに短所を伝えてしまうと、それが原因で不合格となってしまうことも良くあります。基本的には欠点になってしまいそうな短所の話はせずに、かつ自分でもフォローを入れられる内容にすると良いでしょう。

以上